



佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
 〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
 TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

掲載記事

- 講座授業
- 特集
新学習指導要領における
学習評価の進め方-中学校版-
- 教育論文・ICT活用実践研究入賞者発表
- 教育実践交流会のご案内

講座 授業

教育センターでは、教科・領域に関する研修講座において、所員による研究授業を行っています。今年度は、6月から11月の間に、18の研究授業を行いました。

- 小学校 国語, 算数, 生活, 図画工作, 道徳, 外国語活動, 特別活動
- 中学校 理科, 音楽, 美術, 特別活動, 技術・家庭(技術分野), 外国語, 道徳
- 高等学校 国語, 理科(化学), 外国語, 家庭

来年度の研究授業は、16の教科・領域で行います。是非ご参加ください。



子どもの発言や活動を重視する授業展開を提案しました。

算数的活動を重視した授業の提案

小学校算数科Ⅱ講座(平成23年9月27日開催)では、6年生の「速さの表し方を考えよう」の単元で研究授業を行いました。新学習指導要領を踏まえ、算数的活動(児童が筋道を立てて考えた式やその過程を自分の言葉で説明する活動)を重視した授業を提案しました。

授業は、つかむ・見通す・自力解決・学び合い・まとめる、の5段階で構成し、学び合いの段階が深まりのある学習となるよう、ペア学習やグループ活動の時間を位置付けました。

また、児童の意欲を喚起し多様な考え方を引き出す手立てとして、教師の指導や児童の活動の場面においてICT機器を効果的に活用しました。

受講者からは、「授業の流れが大変参考になった」「捉えにくい“速さ”を、プレゼンテーションを使って分かりやすく把握させていた。自分も、授業の中でICT機器を効果的に活用していこうと思った」等の声が寄せられました。

研修講座に、ご参加ください。

来年度の研究講座でも、新学習指導要領を踏まえ、佐賀県教育の基本方針に即した授業の提案を行う予定です。

学習評価の方法や児童生徒が輝く授業づくり等、各教科・領域で工夫を凝らした授業を提案します。



書画カメラを使って、グループの意見を発表している様子。

指導と評価のポイントを分かりやすくまとめ、学習評価事例も掲載しています！

平成 24 年度から、中学校でも新学習指導要領が全面实施となります。学習指導要領のねらいを実現するために、その趣旨を踏まえた学習評価の考え方を理解し、妥当性、信頼性のある学習評価を行うことが大切です。

教育センターでは、10月に小学校の各教科・領域の「学習評価の進め方」(手引き)を Web 発信しました。2月には、中学校の各教科・領域の「学習評価の進め方」(手引き)を Web 発信する予定です。ホームページからダウンロードできますので、是非お役立てください。

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/hyouka_jirei/

佐賀県教育センター



「研究・調査」の「学習評価の進め方(手引き)」をクリックします。



教科・領域ごとにダウンロードできます。一括ダウンロードもできます。



PICK UP!

中学校音楽の学習評価

他の教科でも、このように具体的な事例を取り上げ、分かりやすい手引きにしています。

評価の観点が変わったところ

従前の「表現」という文言は「音楽表現」に改められました。思考・判断したことを言語表現することとの違いを明確にするためです。「音楽表現」とは、実際に「歌ったり、演奏したり、曲を作ったりして表す」ことを指します。また、これまでの「音楽的な感受や表現の工夫」の観点は、「音楽表現の創意工夫」として、表現領域における評価の観点となりました。

評価を行うに当たっての留意点

「音楽への関心・意欲・態度」の評価では、挙手や発言の回数、授業態度の善し悪しや忘れ物の有無等だけでなく、学習の対象に対する関心や意欲を適切な頻度で多面的に評価します。

「音楽表現の創意工夫」の評価では、どのように音楽を表現したいのかという思いや意図を、活動中の行動の観察やワークシートの記述等も手掛かりとして評価します。

「音楽表現の技能」の評価では、生徒が実際に歌ったり演奏したりしている状況の評価します。全ての生徒の状況を確実に把握するような工夫をするこ

と、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能についての見極めをすることが大切です。「鑑賞の能力」の評価では、生徒の発言やワークシートの記述による評価が特に重要となります。題材構想の際に、言語活動や評価する場面を適切に位置付けることが大切です。

具体的な評価方法例と留意点

「観察」「ワークシートの記述」(批評文の記述)「演奏」「作品」「レポート」「ペーパーテスト」「実技テスト」による評価方法と留意点について記載しています。適切な場面で、適切な方法による評価を行うことが大切です。

「実技テスト」では、題材の学習の中での発表として位置付け、個々の生徒の音楽表現の技能や創意工夫のよさを学級全員で共有できるような配慮が必要です。

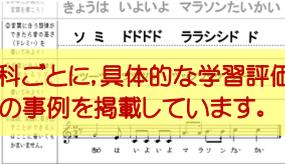
学習評価事例

「音楽表現の技能」と「音楽表現の創意工夫」の評価の進め方が分かる事例(「おやおやおやさい」という絵本を教材とした創作の題材を紹介)の他、2つの具体的な事例を紹介しています。

「学習評価の進め方」(手引き)の主な内容

- 学習評価の基本的な考え方
■ 教科目標・評価の観点とその趣旨・学習評価の進め方・学習評価事例・よくある質問 Q & A

教科ごとに、具体的な学習評価の事例を掲載しています。



【ワークシート】曲の構成に気づき、その構成を表現できると、どのような音楽的工夫をしたかを述べ、その工夫していることと良い理由を、「誰か質問!」(リス)7カラムに「誰か」などの言葉を使って書きなさい。

運んだ言葉のマラソン大会のワークする感じが出るように、付点のリズムを使った。運んだ言葉のマラソン大会の盛り上がる様子が伝わるようにララシンドーとリズムがだんだん高くなるようにした。

よいところの付けかえ (第3節)
「きょうは」の部分に、最初に8分音符を使うなどの工夫をするなど、言葉のアクセントやリズムとよく合うように工夫している。

自分の作品のよさや工夫点を2点以上記述しており、そのことが作品から読み取ることができている(「おおむね満足できる」状況(B))と判断する。

生徒Aのワークシートは、わくわくした感じを出すために付点のリズムを用いたことと盛り上がる様子を出すためにラシンドという上行する旋律を用いたことが記されており、そのことは楽譜からも読み取れる。さらに、第3時の作品発表と意見交換を経て、「きょうは」の部分の音高やリズムが言葉のアクセントやリズムに合うように工夫していることを付け加えており、そのことは楽譜からも読み取ることができる。したがって、「十分満足できる」状況(A)と判断した。

《音楽表現の技能》の評価
旋律をつくるためのポイントとして指導した3点のうち、2点以上が楽譜から読み取ることができ、楽譜の決まりに則っておおむね正確に五線譜に記述できているものを「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。生徒Aの作品は、ポイントの中で、①言葉

国語の学習評価のポイント



- 「話す能力・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の各観点で、基礎的・基本的な知識・技能と「思考・判断・表現」とを合わせて評価します。
■ 指導事項に応じて評価の仕方及びその記録の残し方を工夫し、効率よく丁寧に評価します。

掲載している事例

「読むこと」領域や「書くこと」領域の指導において、生徒の学習状況を、ワークシートの記述等に照らして評価する事例を紹介しています。

社会の学習評価のポイント



- 「思考・判断・表現」では、事実や情報を基に多面的・多角的に考察した過程や結果をどのように表現しているのかを、総合的に評価します。
- 分野により位置付けや重視される観点が異なるため、小单元ごとに重点を置く観点を設定します。

掲載している事例

「社会的な思考・判断・表現」の評価の仕方が分かる事例を、地理的分野・歴史的分野・公民的分野ごとに紹介しています。

数学の学習評価のポイント



- 「数学的な見方・考え方」では、見いだした数や図形の性質やそれらが成り立つ理由の説明・解釈をどのように表現しているのかを、総合的に評価します。
- 小单元ごとに観点別評価の焦点化を図りながら、单元全体としてバランスよく評価します。

掲載している事例

单元全体の指導計画における観点別評価の進め方が分かる事例や、1時間における具体的な評価方法についての事例等を紹介しています。

理科の学習評価のポイント



- 「科学的な思考・表現」では、事物・事象を基にした探究的な学習の中で、いかに科学的に思考し、それを表現しているのかを評価します。
- 「技能」では、観察・実験時の行動観察や結果の記録方法、パフォーマンステスト等を基に評価します。

掲載している事例

单元全体の指導計画から評価の実際までの事例、科学的な思考・表現の評価の事例、自然事象への関心・意欲・態度の評価の事例等を紹介しています。

美術の学習評価のポイント



- 身に付けさせたい力を明確にし、具体的な活動の姿を評価規準として設定します。
- 「発想や構想の能力」「創造的な技能」は、制作が進む中で徐々に現れるものであるため、制作初期からの生徒の様子や作品の変容を見取り評価します。

掲載している事例

单元全体を見通して、具体的な評価の方法が分かる事例(鑑賞や表現の題材)等を紹介しています。

保健体育の学習評価のポイント



- 体育分野・保健分野ともに、内容のまとまりごとに評価の観点が異なります。
- 「運動についての思考・判断」では、知識を活用する場面を設定する等指導を工夫し、学習ノートの記述や発言等、観察したことを基に総合的に評価します。

掲載している事例

体育分野における「思考・判断」「体育理論」、保健分野における「健康・安全についての思考・判断」の評価の方法が分かる事例等を紹介しています。

技術・家庭の学習評価のポイント



- 技術分野では、地域や学校の実態、他教科との関連等により履修学年や指導内容が異なるため、題材の目標を明確にした指導と評価を行うことが大切です。
- 家庭分野では、内容相互の関連を図った題材を構成して、指導と評価を行います。

掲載している事例

内容の関連を図った題材(「材料と加工」と「情報」、「食生活」と「消費生活と環境」)における、指導と評価の方法が分かる事例等を紹介しています。

外国語の学習評価のポイント



- 「外国語表現の能力」では、自己表現活動を单元計画に多く取り入れ、その活動を評価します。
- 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」では、活動に取り組む様子や、活動を継続させようとする努力の様子等を評価します。

掲載している事例

单元全体を見通して、学習評価の進め方が分かる事例や、スピーチ活動を中心に4技能を関連付けた活動事例を紹介しています。

特別活動の学習評価のポイント



- 生徒の実態を踏まえ、各学校で育てたい態度や能力に応じた適切な評価の観点を設定します。
- 生徒に自信をもたせたり意欲を高めたりするために、生徒の努力や意欲を積極的に認め、よさや可能性を多面的・総合的に評価します。

掲載している事例

集団の一員としての思考・判断・実践を評価した事例(学級活動(2)「適応と成長及び健康安全」)等について紹介しています。



教育論文・ICT活用実践研究入賞者発表！

平成 23 年度も教育論文・ICT活用実践研究の募集に多数の応募をいただき、ありがとうございました。審査の結果、次のように入賞校・入賞者を決定しました。入賞した論文は、教育実践交流会時に表彰及び発表を行い、3月に教育センターのホームページに掲載します。入賞されたみなさん、おめでとうございます。

教育論文(校内研究・個人研究)部門



優秀賞 佐賀県立太良高等学校 校長 白水 敏光 代表 教諭 南 一也
研究主題 高等学校における特別支援教育の推進の在り方
-すべての生徒のための「できる授業」づくりを通して-

奨励賞 多久市立東部中学校 校長 大谷 清純 代表 教諭 渡辺 明美
研究主題 命を大切に、思いやりの心を育てる学校づくり
-「生と死を考える授業」を通して-



優良賞 唐津市立湊小学校 教諭 吉田 奈美
研究主題 主体的に人や自然に関わり、地域のよさに気づき・考える総合的な学習の支援の在り方
-地域とともに生きる児童の育成をめざして-

奨励賞 多久市立納所小学校 教諭 岩崎 達義
研究主題 学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を身につける児童の育成
-探究的学習を通して-

奨励賞 唐津市立巖木中学校 教諭 熊谷 吉朗
研究主題 生徒の学ぶ意欲を高め、思考力・判断力を育む社会科指導の実践

ICT活用実践研究部門

優秀賞 武雄市立武内小学校 校長 八田 実 代表 教諭 中尾 通孝
研究主題 児童の対話能力の向上をめざすICT機器の利活用の研究

奨励賞 武雄市立御船が丘小学校 教諭 片瀬 浩也
研究主題 授業での教師によるICTの有効的な活用に関する研究
-タブレットPCとプロジェクターを活用し理科において教育効果をあげるための実践研究-

第13回教育実践交流会(2月14日)のご案内



今年度の教育実践交流会は、「高める力量 広げる実践 ともに創る教育新時代」をテーマに、各種分科会やワークショップを設けています。教育論文等入賞者の表彰及び発表の他、より実りのある交流をしていただけるよう、それぞれの分科会は90分間設定しております。

多くの先生方に参加していただけるよう、1コマだけ、午前中だけなど、一部の参加も可能です。申込み方法や開催される分科会等、詳細は、1月上旬配布の案内及び教育センターホームページをご覧ください。

【申込締切】平成24年1月31日(火) 多数のご参加をお待ちしております。 <http://www.saga-ed.jp/shien/kouryukai/>



昨年度の分科会の様子